

第26回三木市俳句まつり

日時 令和8年3月7日(土) 午前10時より

会場 三木市吉川町公民館

行事予定

★吟行会及び当日句会

★応募作品成績発表及び表彰



「加東市 国宝 朝光寺」

主催 三木市俳句まつり実行委員会

後援 三木市・三木市教育委員会

三木市議会・神戸新聞社・JAみのり

吉川町文化協会・吉川町公民館

国宝朝光寺とつくばねの滝

国宝朝光寺は、加東市畑に所在。
法道仙人により開創した加東市随一の古刹である。

本堂は、文治5年(1189)現寺地の北の権現山からこの地に移り、再建されたといわれている。

静寂の中に立つ本堂は、方七間の堂々たる建造物で、重厚な佇まいは、田や畑、木々生い茂る山中でその威厳を放っている。

本堂周辺には、重要文化財の鐘楼や県指定文化財の多宝塔、市指定文化財の仁王門、五輪塔等さまざまな遺構が深い歴史を刻んでいる。

寺の正面の仁王門をぐり、参道の下を流れる鹿野川をさかのぼると、朝光寺境内の周辺に「ツクバネ」が多く自生しているところから、「つくばねの滝」と呼ばれる勇壮な滝を見ることができる。

また、朝光寺に至るまでの自然豊かな農村風景も魅力である。



(参考:朝光寺パンフレット)



左「重要文化財:鐘楼(しょうろう)」



上「県指定文化財:多宝塔」



「ツクバネ」

高さ1~2mを測るビャクダン科の落葉低木で、果実の形が羽子板で突く羽根に似ているので衝羽根と名付けられた。播磨地域での分布は大変珍しく、唯一朝光寺境内の周辺で見ることができる貴重なもので、加東市の天然記念物に指定し保護されています。

俳句まつり作品募集要項

◆ 開催目的

大人から子供まで、俳句を通じて、情操と感性を育み交流を図ることを目的とする。

◆ 応募部門

イ. 一般の部

ロ. 小・中・高校生の部

※小学校5・6年生・中学校1・2・3年生の希望者

高校生と他学年の希望者

◆ 応募数(投句数)

2句1組とし、1人6組まで・自作未発表作品に限る(季節を問いません)

※小学生・中学生・高校生は1人1句

◆ 投句料

1組(2句)1,000円(定額小為替・普通為替・現金書留)

※小学生・中学生・高校生は無料

◆ 投句先 〒673-1114 三木市吉川町吉安246

吉川町公民館内 三木市俳句まつり係

電話 0794-72-1577 (休館日:祝日・月末日)

※応募用紙(投句用紙)は、公民館窓口、公民館ホームページでも入手できます。

◆ 締切り日(当日消印有効)

一般の部 令和7年11月10日(月)

小・中・高校生の部 令和7年10月30日(木)

◆ 選者

朝妻 力 (雲の峰主宰) 小杉 伸一路(九年母主宰)

谷口 智行 (運河主宰兼編集長) 中岡 毅雄 (いぶき共同代表)

はりま だいすけ(斧主宰) 松本 幸平 (吉川白萩俳句会代表)

森 ちづる (斧副主宰・編集長) 山口 昭男 (秋草主宰)

山田 六甲 (六花俳句会主宰) 吉村 玲子 (三田俳句協会会長)

◆ 表彰

三木市長賞・三木市教育長賞・三木市議会議長賞

神戸新聞社賞・JAみのり賞・吉川町文化協会長賞

吉川町公民館長賞・選者特選句賞・佳作・奨励賞

◆ 吟行会及び当日句会 ※吉川町公民館より送迎バス有

吟行地:国宝 朝光寺とつくばねの滝 (加東市 畑)

午前10時～11時30分

吟行会及び当日句会 出句1人2句 締め切り日 正午

表彰は大会賞に準じる

◆ 問い合わせ先

〒673-1102 三木市吉川町富岡 127 西原 和孝 TEL090-5058-4290